

		自己評価				学校関係者評価		今後の方向(改善計画等)	
		評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	取組の状況	達成状況	学校関係者評価者による意見		
①	確かな学力の育成	(授業改善)	【満足度指標】 計画的な授業実践がなされ、授業力改善シート活用や、授業時数確保が万全か。 学力調査の結果分析を授業改善につなげているか。	計画・実践に向上が見られる職員が A: 100% B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・計画的に進め、時数は十分確保された。 ・授業力改善週間や校内研修会を設定し、互いの授業や指導法について切磋を深めた。 ・小中交流の機会を多く持ち、小学校への出前授業も実施した。	B	・授業や、指導法の改善、学校での学習に満足している保護者の割合は約80%と増加している。	・みゆき学びの12か条を柱に、指導法の改善や小中連携の視点をより具体的にしていく。	
		(指導計画・指導記録)	【成果指標】 校内研修の充実が図られるとともに、各教科での指導計画が適切に作成され実行されているか。教育課程におけるそれぞれの指導記録がしっかりと整備されているか。	【成果指標】 授業参観、模擬授業ができたか。指導記録が整備され、毎月の提出確認、内容の充実が図られているか。	毎月の記録・提出ができた職員が A: 100% B: 90%以上 C: 80%以上 D: 80%以下	・指導計画、記録ともに毎月の確認がきちんと行われており、内容も高まっている。 ・来年度の学習指導要領の完全実施に向けて、指導計画や授業の工夫の準備をすすめている。	A	・生徒アンケートで70%が「授業がわかる」という結果は評価できる。	・授業力改善週間の時期はより多くの相互参観のできる時期に設定する。
		(指導法の改善)	【成果指標】 校内研修の充実を図るとともに、創意工夫に基づき、きめ細かな指導に心がけ、生徒の意欲を高め、基礎学力定着のための工夫をしている。	【成果指標】 いしかわ学びの指針12か条に基づき校内研修を実施し、工夫、改善に取り組む、研修会参加など成果が上がっているか。T.T、少人数教育が機能し、生徒の基礎学力が向上しているか。	授業がわかると答えた生徒が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%以下	・少人数授業や、異校授業を通じて基礎基本の定着に取り組んだ。他にも1年生の数学・英語、2年生の英語・理科でT.T授業を行った。 ・きめ細かな授業を行った。 ・成果としてドリル学習や復讐練習にかけると時間の確保ができた。 ・生徒アンケートでは約70%の生徒が「授業がわかる」という問いに肯定的な答えをしている。	B	・生徒アンケートで70%の「授業がわからない」という答えを少なくしていった。	・小中の授業交流の機会を多く持ち、また指導力向上のための出前授業を行う。
②	豊かな心の育成	(道徳教育)	【満足度指標】 全体計画と指導計画のもと、道徳の時間の充実にも努める。	【満足度指標】 時数が確保されており、年間計画に従って実践しているか。	授業・実践に向上が見られる職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・道徳の時間がしっかりと確保され、資料も整備され、充実した授業が行われている。 ・朝礼や終礼、各種行事などさまざまな場面で道徳的な指導が行われている。 ・生徒の活動に道徳的実践が現れてきている。	C	・生徒会活動が活発な様子が評価できる。	・新校舎完成に向けて、心の成長や良き校風づくりを目指す。
		(特別活動)	【満足度指標】 集団の一員としての自覚を高め、良き校風作りのために、自主的・実践的活動となるように工夫している。	【満足度指標】 年間計画、生徒会テーマが確立され、事前指導もよく、十分な成果を設定しているか。人間関係作りの実践活動も取り入れているか。	成果を感じる職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・生徒会年間テーマ「輝」を掲げ、生徒による自主的で前向きな活動が行われている。 ・各委員会の活動も、地道な当番活動がしっかりできるようになり、生徒たちからさまざまなアイデアも出てくるようになった。	B	・新しい道徳教材を有効活用し、学校ぐるみで道徳教育を構築していく。	・学級集団づくり、学年集団づくりを進め生徒会活動の充実を図る。
③	健全な体の育成	(健康教育)	【満足度指標】 食事、睡眠、運動など、食生活や生活習慣の改善、考慮が十分になされている。	【満足度指標】 自己の健康管理や、成長への自己健康管理がうまくできているか。心の教育への配慮がなされているか。	予防対策とその成果として A: 欠席者数が大変少なかった B: カゼやけがの数が少なかった C: カゼやけがの数が増加した D: 欠席者数が激増した	・他の学習科目との関連を明示した計画がなされ、年間計画のもとにさまざまな活動が実施されている。 ・日常の保健指導、保健だより、検診時の指導を通して生徒、保護者の啓発に努めている。 ・学校保健委員会とPTAの生活環境委員の積極的な協力の下に学校保健委員会を実施できた。	A	・学校保健委員会や給食委員会もとても良かった。	・生徒の意識を高め、保護者の理解と協力をより得るため、PTAとの連携を強めていく。
		(食育推進)	【成果指標】 各教科、領域と関連しながら食に関する指導を行う。	【成果指標】 栄養教育の活用や、計画を立てて、家庭的な実践への浸透が図られ、残菜0運動や朝ごはん運動の成果が上がっている。	残菜0、朝食・夕食完全摂取が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・日常の給食指導、栄養教育による授業、給食だよりなどを通して啓発されている。 ・学校給食委員会の実施。 ・生徒会給食委員会による残菜調べを行うなど、食に関する呼びかけや実践ができた。	C	・部活動は大変熱心で、成績も良く、評価できる。	・学校保健委員会のテーマを3年間で保健、給食、体育の分野を網羅する。
		(部活動の推進)	【満足度指標】 有効な教育活動として、心身の健康や日々の生活態度の向上、人間的な成長を図る。	【満足度指標】 部活動を通して、心身の健康や生活態度・人間関係の向上が見られたか。	生徒の成長を感じる保護者・職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・課外活動全員参加(社会体育分野に関しても)がほぼ達成され、転部する生徒も少なく、意欲や興味関心は高まっている。 ・PTAでも部活動補助や、部活動後援会充実など大きな支援を行っている。異・中・学校の2つの連携が図られている。 ・女子バレーボールの全国大会出場をはじめとして、それぞれの部が成果を出している。	B	・部活動の種類を増やしてもいいのでは。	・給食時の献立放送など、生徒の活動をより良いものに見直ししていく。
④	生徒指導の充実	(生徒指導)	【満足度指標】 全教職員が共通理解と相互補完をしながら、適切な配慮、意識をもって指導に当たっている。	【満足度指標】 情報交換、共通理解の場をよく持ち、適切な対応ができて成果があるか。	成果を感じる学校関係者・職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・生徒はルールを理解し、まじめに取り組む、前向きに努力し、転部する生徒も減少した。 ・生徒会活動も前向きな効果も上げており、全校生徒の積極的な参加をはじめ、面談の機会を増やし、懇話・懇親会を行った。 ・カウンセリングや心理相談、生活理解に努め、多方面での支援を工夫している。 ・生徒指導部会を定期的に開催し、情報交換と今後の取り組みを話し合うことができ、校則の見直しもPTAと協力して行った。	B	・校則についても小中の連携が図られると良いと思う。	・積極的な生徒指導、集団づくりの実践に励む。
		(生徒会活動)	【満足度指標】 生徒会テーマ「輝」のもと良き校風作りのために、自主的・実践的活動が積極的かつ継続的に行われている。	【満足度指標】 生徒会テーマのもと、行事や日々の活動において、十分な成果をあげているか。	成果と生徒の成長を感じる職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・生徒会活動では、継続的な活動と、新たな取り組みを計画的に行うことができた。生徒の自治的活動が前向きな活動ができた。 ・さまざまな活動のなかで、生徒からの提案や企画が増え、自主的で意欲的な雰囲気が出てきた。	B	・交通安全教室を1年生だけじゃなく、2・3年生も同様に扱ってやってほしい。	・生徒指導部会を週1回、定期的に実施し、現状把握と今後の対策をより具体的に進めていく。
⑤	組織的な学校運営	(組織的な学校運営)	【成果指標】 プロの教育集団としての自覚を持ち、主任機能の強化を図り、各分掌・学年の主体的、積極的な取り組みを推進するとともに、適切な連絡・相談・助言を通して、組織的・機動的な教育集団を確立する。	【成果指標】 校務委員会の開催と機能化ができたか。校務委員会を通して方向性が確認され、それに基づき各学年や分掌部会が機能し、提案や建設的意見がより出され、前向きに取り組んでいるか。	校務委員会の開催と機能化ができた A: 毎週開催し、機能した B: ほぼ毎週開催し、機能した C: あまり開催できず、機能しなかった D: 開催できなかった	・週1回の校務委員会が機能し、各分掌が主任を中心に具体的な動きができるようになった。 ・学年会や生徒指導部会、相談部会も時間割の中へ組み入れ、週1回定期的に開催することができた。各学年の方向性や役割分担を明確に話し合うことができ、組織的に動くことができた。	B	・校内の組織的運営や出来事について、学校長だよりで良く理解できる。	・分掌組織形態を明確化する。
		(学校事務)	【成果指標】 通達・報告文書や公的諸帳簿および金銭出納簿が適切に処理・保管され、スムーズな新校舎移転ができる。	【成果指標】 遅滞なく処理され、保管も適切で経理も明快であるか。新校舎移転に際し、備品や文書の整理整頓がきちんと行われているか。	文書管理ができている職員が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・文書は適切に処理されている。 ・新校舎引越の際にこれまででも文書の整理整頓ができた。 ・各担当の管理しているデータの集中管理が必要である。	A	・新校舎完成に向けて、防火設備や避難経路の熟知が職員、生徒ともに必要であり、綿密な訓練を行う。	・各分掌の部会を定期的に開催し、主任を中心とした組織的運営に心がける。
		(危機管理)	【成果指標】 災害訓練が計画され、日々の健康・安全対策が適切にとられ、報告・連絡・相談を十分にいき、危機管理に即した緊急対応体制を確立する。	【成果指標】 避難訓練や安全対策、安全点検、適切な施設・備品の管理が組織的になされているか。	危機管理ができていると感じる職員が A: 100% B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%以下	・新校舎に移転後すぐに、地震と火災を想定した避難訓練を行った。生徒に予告せずに行うことを計画した2度目の訓練は悪天候のため、2度におわって延期・中止させる事になった。 ・安全点検は適切に行われている。 ・新たに作成した甚大災害を想定した危機管理マニュアルを周知徹底する必要がある。	B		
⑥	家庭・地域との連携	(参加・協力)	【満足度指標】 地域に密着した理事会の運営と支援で、保護者との相互理解とPTA行事への積極的な参加をはかる。	【満足度指標】 保護者が積極的に行事に参加する体制、機会を作ることができたか。	参加協力できたと感じる学校関係者・職員が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 50%以上 D: 50%以下	・校則検討委員会を職員とPTA理事で立ち上げ、実務担当の職員と保護者の両方の意見を考えた。 ・高校授業では50名、引越準備作業では20名以上の保護者の参加があった。職員研修への協力も増え、今年度は32の事業所で体験を行った。 ・新校舎の1期工事の完成を機に新校舎見学会を地域向けに保護者向けの2つを開催し、約80名の来校者があった。	B	・PTA理事や保護者との情報交換が密に行われており、満足していると答えた保護者の割合は大きく向上し、学校の対応は評価できる。	・新校舎完成にあわせ、PTAだけでなく、地域の皆様にも学校公開(授業、行事、部活動、新校舎見学)の機会を増やし、連携を深めていく。
		(情報交換)	【満足度指標】 携帯メール配信システムによる意思疎通の促進と、委員会活動においても、積極的な活動ができて全体に配慮した情報の共有や活用がなされている。	【満足度指標】 携帯メール配信システムの加入率が増加し、有効なサービスができているか。理事会の運営のあり方が適切で、情報交換や、理事会、教職員、保護者の相互の意識が高まったか。	情報交換ができたと感じる保護者・学校関係者・職員が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 50%以上 D: 50%以下	・学校長よりたよを年間約200名発行し、生徒・保護者に学校の様子や願いを発信している。 ・保護者の携帯メール配信登録率は90%を超え、学校全体だけでなく、各学年からのメール配信も増え、学校行事の不審者情報などの発信がスムーズに行われている。	A	・町での挨拶がなく、なっている気がしますが、挨拶を推進して下さい。	・小中合同の講演会や活動を増やし、連携を強めていく。
		(地域との連携)	【努力指標】 学校外部評価による改善、公表をもとに説明責任の明確化を図り、信頼関係づくりを推進する。授業公開や地域の人材活用を促進したり、生徒の地域活動への積極的参加を増やす。	【努力指標】 町内・地域の行事への参加で町の一人としての参加自覚があったか。地域への貢献、参加を促進できたか。	地域との連携、参加ができたと感じる保護者・学校関係者が A: 80%以上 B: 70%以上 C: 50%以上 D: 50%以下	・新校舎1期工事の完成を機に地域や保護者を招いての新校舎見学会、学校公開を行い、約80名の地域のみなさんの来校があった。 ・地域の1期工事完成報告会がPTAの生徒が積極的に参加している。 ・運動会や文化祭などの行事や保護者対象の講演会などで地域のみなさんと連携を強化し、相互参加や参加を増やしている。 ・校区の小学校と連携し、ネットトラブル防止講演会を行った。	B		